

セッション 14：肺癌術後再発例に対する タキソールの CR 例について

水 渡 哲 史

足利赤十字病院呼吸器外科

化学療法の有効性を論じる報告は多いが、その有効率とはうらはらに長期予後の改善を見ることはまれである。トライアルの名の下に、効果がなかったとしてもレジメを完遂するまで行われ、患者にとって入院期間は長く、出費も多い。目の前の患者に有効であったという実感はこれまでほとんど皆無であった。このセッションでは術後再発例に対してタキソールでほぼ根治がえられた 2 例を報告していただきたい。再発症例の治療に対して希望が持てる報告であり、あきらめることなく現在使用可能な薬剤の投与を試みる価値を感じさせる。どの薬剤を使うか、また投与をいつまで続けるかといったことが今後問題になるであろう。さらに有効な薬剤の登場によっては reduction surgery への道が開かれるものと期待する。